

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイまり		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重心施設の為、看護師が必ず常駐できている。	医療ケア児の対応や急な体調変化にも迅速に対応できるよう、看護師を中心に全スタッフが安全に利用児に関われるようスタッフ教育を行っている。	同グループ内で複数の施設を運営しているため、施設間の交流や情報共有の場を作ると、より良いケアの提供に繋がると思われる。
2	スタッフの年齢層や国籍が幅広く協調性もあるため、楽しく明るい雰囲気の中でリラックスした環境が提供出来る。	各スタッフの特性を生かして、英会話やギター演奏を日常的に取り入れれたりレクリエーション活動で異文化に触れる機会を提供している。	今後も利用児や保護者のニーズに応じた新たな取り組みやイベントを企画していく。
3	入浴希望者には対応している。	浴室にストレッチャーを導入し、利用児・介助者共に負担が少なくなるよう工夫している。同性介助で羞恥心やプライバシーの保護に努めている。	転倒や転落に注意し、引き続き安全安楽に入浴介助ができるよう支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎に時間がかかる事が多く、特に平日はレクリエーション活動や外出イベントを企画することが難しいことが多い。	スタッフ不足や大型のバギー等を乗せられる車両配備が限られてくるため、場合によっては利用児を選定して外出することもある。	スタッフ増員やドライバーを確保して安全に支援できる体制を整えていく必要がある。
2	他事業所との交流や関りがほとんどない。	周囲に重心施設が少ない。	相談員さんや保護者の方、特別支援学校等との連携を強化し、機会があれば積極的に交流の場を設けられるよう働きかけていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイまり
------	--------

公表日 令和8年3月28日

利用児童数 16名

回収数 13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2		1	フロアや玄関は広いと思います。	パグ-を置くスペースがない。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2		3	新しいスタッフも入って人数が増えた。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2		1	施設内がフラットで安全。床暖が暖かい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	2		1	トイレが一つしかない、キッチンとの境目がない。	パーテーションなどで極力プライバシーの配慮が行えるよう工夫してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			2	子どものことをよく理解してくれている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	3			事前にアンケートを書いて面談を行ってもらう。	保護者様からご自宅での様子等も伺いつつニーズに沿った内容で作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			3	計画書に詳しく書いてありました。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			4	夏祭りやクリスマス会などのイベントが行われている。	子ども達が楽しめるよう内容を工夫して企画しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2		11	あまり聞いたことがない。	現在は行っていません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				契約時に説明してもらいました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	8		3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13				連絡帳やLINEで情報が早いので助かる。	写真や動画を送ったり、日頃の利用状況がわかるようこまめな発信を今後も心がけていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		2	送迎時などにも相談に乗ってもらえるので助かっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				スタッフさんが皆優しい人が多い。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	2	8		就労されている保護者の方が多いので日程調整が難しい。季節のイベント等と一緒に参加してもらう等負担の少ない方法を検討していきたいです。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2			急な要望に対しても臨機応変に対応している。	今後もお困りごとや苦情は専用窓口を設置していますのでいつでもご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1			LINEやSNSを使用している。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9		1	3	写真や動画で楽しそうな様子が分かるのが嬉しい。	今後も保護者の方に分かりやすい方法で発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	3		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		4		9	地震など起きた時が心配。	定期的に訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	いつもLINEですぐに連絡が来る。	体調変化時や怪我の際は速やかに保護者様への連絡を行い、送迎時にも直接説明させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				スタッフの顔を見るとニコニコしているから安心。	今後も安心・安全に通所していただけるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12			1	いつも楽しそうに通っている。	無理なことはせず、学校帰りはリラックスできる環境を提供しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				いつもありがとうございます。	引き続きご要望等ありましたらいつでもお申し付け下さい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイまり					公表日	令和8年3月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			バギーの利用児が多いと狭くなってしまいうので、環境整備しフロアをなるべく広く使えるよう工夫する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		看護師が常駐し安全に支援できる配置となっている。	ドライバーが少なくスタッフが送迎に出まうと現場が手薄になってしまう。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設内以のフラット化。	トイレが1つしかなく不便。パーテーションで仕切りを作ったり脱衣所のカーテンを使って半個室を作っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		床暖やクッション性のフロアマットで安全に快適に過ごせるようになっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		現在、パーテーションを利用している。	個室や保護者来所時の面談室等も整備できるとよい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				今後検討が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		施設内でのカンファレンスを行っている。	グループ全体の他拠点との交流が少ないので施設ごとの情報共有が少ない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			現在、当事業所では実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		積極的に研修等に参加しやすいよう、新人スタッフにも外部研修等を促している。	現場のスタッフが不足してしまう為、余裕をもった人員配置が望ましい。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		事前にヒアリングアンケートを行いニーズを確認している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				主に児発管や看護師が中心になっていることが多く、スタッフ全体の認識が足りていない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング会議を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		各項目に沿って個別の特性を踏まえて立案している。	保護者とコンタクトが取りづらい家庭の家族支援や地域支援などが検討しづらいケースがある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		保育士が中心となり立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節のイベントなどを企画している。	利用児個々の能力に合わせ柔軟に対応していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼時に当日のスケジュール・注意事項・担当役割の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		業務連絡ノートやスタッフグループLINEの活用	送迎時間の兼ね合いや退勤時間が異なる為、翌日の朝に振り返りや申し送りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		記録用紙は複写式の物を使用し毎回記載、保護者とスタッフ間で連携・共有している。	排泄やおやつ摂取量など細かな記載漏れがあることあり。支援内容はすべて正確に記載することを徹底する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年毎の更新、ヒアリングシートを元に見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		年齢や個人の特性、障害の程度に応じた支援方法を考慮している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		管理者や看護師が中心となって参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		保護者から年間行事予定表等を送ってもらい連絡調整を行っている。	今年度より特別支援学校の働き方改革の一環で不規則な下校時刻となる日が出てくるため、送迎時間に注意する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			就学前の施設との連携は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		当施設グループに生活介護施設があるので、スムーズに情報共有は出来る。	今年度が初めての卒業生送り出しであったため移行支援が定着していない。今後は積極的にいけるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			当事業所では行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			当事業所では行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			今後参加を検討。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		電話やLINEの活用、送迎時に直接伝達する等して共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		ヒアリングシートを元に保護者と面談し、丁寧に意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			送迎時など短時間での説明となってしまうことが多い。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		一度保護者会を企画したが、就労されている親御様が多く、日程調整が困難であり開催延期となってしまった。負担の少ない方法を再度検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を設置し、相談や申し入れに対しては速やかに管理者へ報告し対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEで動画や写真を送ることで保護者からも利用状況が分かりやすいと好評である。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫とシュレッターで厳重に管理している。	連絡帳の取り違えで他の利用者同士に個人情報を漏らしてしまう事案が発生してしまった。周知徹底し以後は再発防止に努めている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者の特性や性格に応じた対応や声かけ、アドバイスの方法に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を実施、非常用の栄養剤の預かり等備えている。	預かり備品の使用期限切れに注意。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に看護師がアセスメントシートに沿って聴取、計画書更新時に服薬の内容等も再確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある子は食札に表記。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		所定の書式を事務所に保管し、全スタッフが共有できるよう教育している。	同一のヒヤリハットが続くことがあり、再発予防が周知されていないことがある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		同グループ内で全体研修があるため担当者が本部の会議に出席し、事業所スタッフへ指導している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、承諾書にサイン・保護者の同意の元、必要最低限の実施としている。	職員配置を適切に行い、自傷行為のある児に対しては常時1～2名スタッフが対応出来るようにする。	